

Y15b 大学院生出張授業プロジェクト(BAP) 2年間の軌跡

石川遼子、鎌田耕平、宮武広直、安藤康伸、白川慶介(東京大学)ほかBAPメンバー同

大学院生出張授業プロジェクト(Back to Alma mater Project、以下BAP)は、東京大学の大学院生を中心とした学生団体である。これまでの2年間で北海道から鹿児島まで43校、のべ2000人以上の高校生に対して(2010年12月現在)で出張授業を行ってきた(概要については鎌田らによる口頭発表を参照されたい)。本講演では、これまでの出張授業の実績に加え、我々のサポートシステムの詳細、高校生や教師の方々へ行ったアンケート結果、出張授業を行った講師の声などについて報告する。また、BAPを広く知ってもらうために我々が行っている様々なスピンオフ企画(他大学の大学院生にBAPのシステムを提供するBAP System Export、留学生の母校へのお出張授業をサポートするBAP for International Students、全国で活躍する学生団体の交流誌「四季報」の発行、大学(院)生同士の交流を目的としたBAP cafe)についても紹介したい。本ポスターセッションを、我々BAPの活動について議論する場にしたいと考えている。